

園庭の木に実がなってきました

空気が気持ちよく、外遊びがうれしい5月でした。爽やかな空気の中子どもたちは散歩や、どろんこ遊びをいっぱい楽しんでできました。

今年も庭のジューンベリーが実を付け、さっそく子どもたちが食べています。昨年不作だったびわの実がたくさん青い実を付けています。ブルーベリーやヤマモモも実を付けてきました。子どもたちが、自分でとって食べられる日ももうすぐです。

子どもたちの心の育ちで大切にしたいこと



いま、将棋界では14歳の藤井聡太4段の連勝にストップが止まりません。彼は小さい時から一つの遊びを何時間でもやっていたといい、彼のお母さんは、「やり始めたらとことんやる」と語っていました。夢中になってとことんやる（遊ぶ）ことはやはり大切なことだと感じさせられました。どんぐりの子どもたちを見ていても、夢中になって遊んでいる様子は、次への可能性をいっぱい秘めている姿だなと感じています。

ところで、日本の子どもたちは、自分に対しての自己肯定感が低いという調査結果はご存じでしょうか？

これは、子どもを競争に追い込んで「できる子」「できない子」でレッテルを貼る教育制度の問題だとも言われています。

その影響から、ついつい子どもたちの育ちを目で見えるところの「あれができた」「これができた」「もう字が読める」「〇〇ができる」というところに目が行ってしまいがちになってしまいます。そして、ついつい「人より早く」「将来困らないように」と習い事などに走りがちです。しかし、子どもがこれから育っていく上で大切なことは、周りの大人に対する信頼感や安心感、そして自己肯定感です。子どもたちは安心感の中で次の課題に挑戦していきます。

そして、もう一つ大切なことは、子どもたちは仲間の中で、仲間と共に育つということです。安心感のもとで、仲間に認められ、仲間に支えられながら自信をつけて育って行きます。弱さも含め、自分であって大丈夫という気持ちが安心のもとになり、その安心に支えられて、子どもは自分を表現し、新しいものに挑戦し、自分らしさを育てて行きます。



6月25日（日）はどんぐりまつり（バザー）です

公費収入ではまかないきれない財源をみんなで力をあわせて作りだし、子どもたちに充実した保育を行うためのバザーです。このお祭りを通して父母・職員同士の交流・親睦も図っていただける楽しい取り組みです。現在、実行委員会が準備を進めています。当日は、準備や片付けも含め、楽しくバザーを盛り上げて行けるようご協力よろしくお願いします。

/// 子どもたちのひとコマ ///

くまぐみのさとる君とれん君がナンテンの葉っぱ付きの枝をめぐって取り合いのけんかに。

そこにみきちゃん、はなちゃん、ゆりかちゃんが来て「ケンカはしないの」「二人ともやめなさい」「はい、おしまい」など言いながら二人の間に入ったりしながらケンカの仲裁に。なかなか頼もしい3人の女の子たち。それでもなかなかやめない二人で、はなちゃんとみきちゃんが別の葉っぱ付の木の枝をボキッと折ってきて手渡し、ケンカがおさまりました。なかなかの機転に感心です。でも、流石にブルーベリーの花が咲いている枝を折られた際には、“ちょっとそれは…”でしたけどね。

（子どもたち名前は仮名です。）